

新たな経済プラン(仮称)策定について

令和8年8月25日
福井県

新経済プラン(仮称)の策定について ― 概要、計画の位置づけ 等

○ 概要

物価高騰や継続的な賃上げ、金利の上昇など、企業を取り巻く経営環境が大きく変化する中で、急速に進化するAIの活用や産業を支える人材の育成など、県内企業の稼ぐ力の強化に向けた指針をすみやかに示すため、現行の経済ビジョンの次期計画の検討に1年前倒しして着手し、新しい経済プランを策定する

○ 計画の位置づけ

福井県全体の目指す姿、基本目標を経済面から実現するための政策の方向性を定めるもの

新たな政策方針の目指す姿「世界があこがれる福井」
長期ビジョンの基本目標「しあわせ先進モデル 活力人口100万人ふくい」

○ 計画期間

令和9(2027)年度～令和13(2031)年度の5年間

○ 計画策定の進め方

- ・ 県内経済団体や県内企業、県内外の有識者などで構成する「新経済プラン(仮称)策定委員会」において検討する。
- ・ また、県内経営者や若手起業家等との意見交換「福井経済ラウンドテーブル」や、県内企業・事業者へのアンケート調査を実施し、新経済プラン(仮称)に県内企業の意見や県内経済の実情を反映する

新経済プラン(仮称)の策定について — 石田県政の新たな政策方針

石田県政の新たな政策方針について

目指す姿

世界があこがれる福井（「躍動する福井」の推進により持続的な発展を図り、「世界があこがれる福井」を実現）

グローバルに展開し、国内外で福井の存在感を向上させるとともに、
県民自身が世界に誇れる福井を実感するよう、故郷（ローカル）の価値を高めていく ⇒グローバルとローカルの両輪で推進

県政の運営方針

全世代リスペクト

- ・若者躍動プロジェクト
- ・高齢者グッドライフプロジェクト

徹底した県民目線

- ・知事の現場実践プロジェクト
（実践、視察、意見交換等の実施）

発信改革

- ・「届く」「伝わる」情報発信
- ・情報リーチ戦略プロジェクト

政策の強化軸

躍動福井のファーストステップ「**3つのS**」～スケール・スピード・サステナビリティ～

長期ビジョンおよび実行プランを継承しながら、「3つのS」に沿って取組みを強化

スケール Scale

世界とのつながりを成長の原動力に、
世界の中の福井へ

■世界に直結する福井ブランドの確立

- ・知事によるトップセールス（大使館外交等）
- ・世界にアピールする新ブランド戦略
- ・インバウンド+販路開拓+情報発信を
一体化した戦略的海外展開 など

■世界を知り、活躍する人材の育成

- ・世界を知り、福井で活躍する人材の育成
- ・国際教育の充実
- ・AI人材の育成 など

スピード Speed

時代の変化をつかみ、未来をさきがける福井へ

■社会環境の変化に先手で動く福井へ

- ・地方発AX（AIを軸とした産業振興・
教育振興・行政改革）
- ・新経済プランの策定・推進（産業クラスター等）
- ・農林水産業、建設業などのスマート化
- ・GXの推進 など

■現場の機動力を活かす「オールふくい」

- ・市町協働、官民共創の推進
- ・部局横断の「掛け算プロジェクト」
- ・情報発信強化（効果的なSNSの活用、
プッシュ型） など

サステナビリティ Sustainability

未来への投資が新しい価値を生み、次世代へつなぐ福井

■人口減少を見据え、社会をリ・デザイン

- ・行政サービスの効率化・最適化（県市町共同DX）
- ・安心安全な暮らしを支える基盤の強化
（防災、インフラ、交通、医療・福祉、地域コミュニティ等）
- ・福井のさらなる魅力向上（福井アリーナ整備、若狭湾プレミアムリゾート構想等）
- ・嶺南地域の振興（エネルギーを活用した地域の活性化、敦賀以西のまちづくり等） など

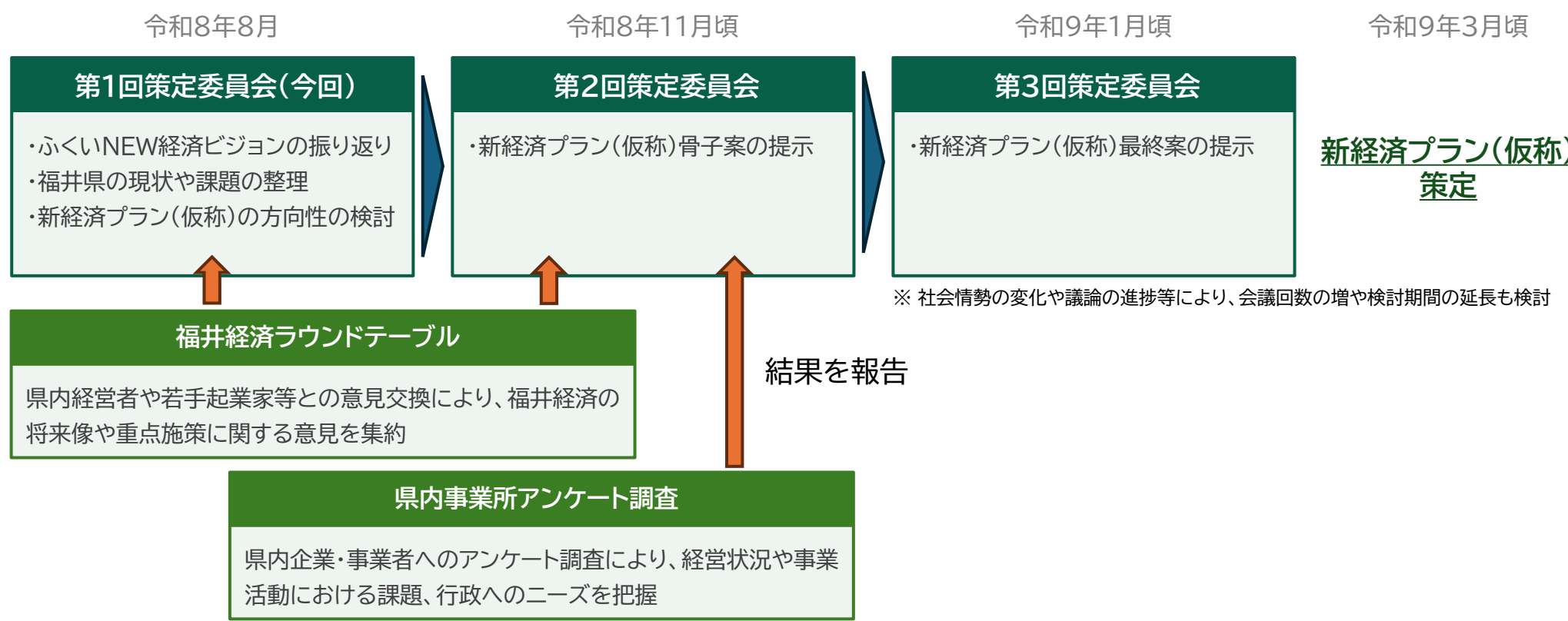
■SWG s（人と社会の持続的な幸福）の実現

※サステナブル・ウェルビーイング・ゴールズ

- ・子育て支援・教育の充実（ふく育県の推進、教育改革による地域みらい人材の育成等）
- ・障がい者・高齢者支援（複雑化する福祉ニーズへの対応、生活支援サービスの充実）
- ・若者躍動（定着・挑戦）、ミドル・シニアの応援（活躍の場創出、世代間交流等）
- ・関係人口の創出・拡大（ふるさと住民登録制度等） など

新経済プラン(仮称)の策定について — 策定スケジュール、策定委員会の体制

○ 策定スケジュール



○ 策定委員会の体制

浅井 華子	福井大学
浅見 由紀	株式会社P L A N T
荒木 健一	株式会社福井銀行
上田 悦子	福井工業高等専門学校
倉原 直美	株式会社インフォステラ
笹岡 千晶	株式会社アタゴ

清水 茂樹	株式会社松尾研究所
須藤 治	大阪ガス株式会社 (元 中小企業庁長官)
武内 裕嗣	株式会社デンソー
中山 喜美子	敦賀神楽町1丁目商店街振興組合
松原 宏	福井県立大学
八木 誠一郎	福井県経済団体連合会

新たな経済プラン(仮称)策定に向けた 検討の方向性

令和8年8月25日
福井県

新たな経済プラン(仮称)策定に向けた検討の方向性

1 ふくいNEW経済ビジョンの進捗

2 福井県の現状・課題と今後必要となる取組み

3 新経済プラン(仮称)の考え方

新たな経済プラン(仮称)策定に向けた検討の方向性

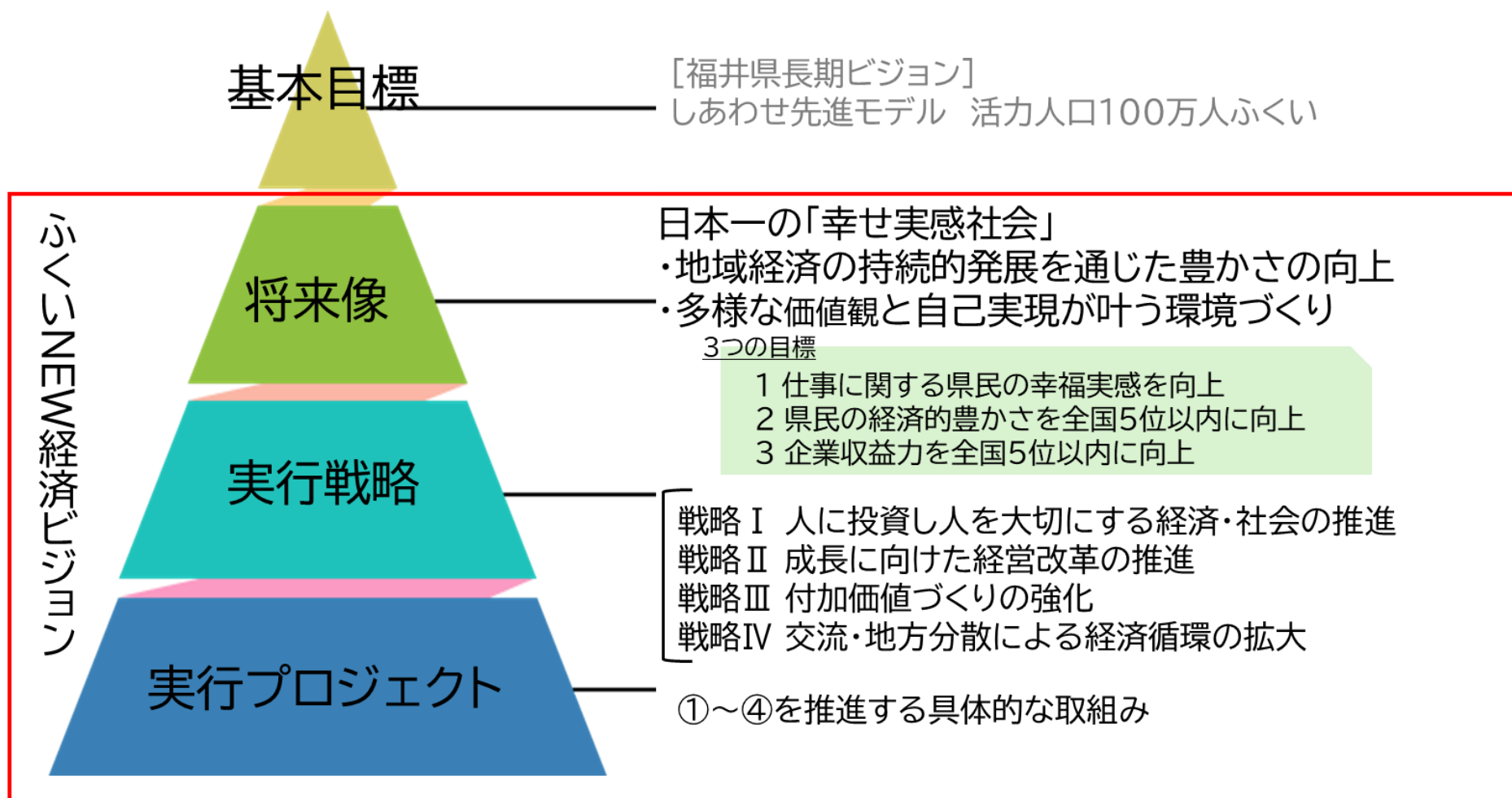
1 ふくいNEW経済ビジョンの進捗

2 福井県の現状・課題と今後必要となる取組み

3 新経済プラン(仮称)の考え方

ふくいNEW経済ビジョンの進捗

- 長期ビジョンに掲げる「しあわせ先進モデル 活力人口100万人福井」を経済面から実現するために、従来のように経済成長だけでなく、**経済成長の先に県民が幸せを実感でき、特に若い世代が豊かで楽しく、自己実現も叶えられるような福井**を目指し、令和5年5月に策定
- 企業収益力、県民の経済的豊かさに加え、県民の幸福実感向上の3つを目標に掲げる



ふくいNEWビジョンの進捗 — 3つの目標

1 仕事に関する県民の幸福実感を向上

KPI:仕事や働き方の①満足度、②社会への貢献度、③選択可能性、の向上

	R5.8	R6.7	R7.9	目標	達成度
①満足度 あなたは、日々の仕事に、喜びや楽しさを感じていますか？	57.0	59.4	59.5	向上	○
②社会への貢献度 自分の仕事は、人々の生活をより良くすることにつながっていると思いますか？	68.2	70.9	71.3	向上	○
③選択可能性 自分の仕事や働き方は、多くの選択肢の中から、あなたが選べる状態ですか？	39.3	39.8	41.0	向上	○

2 県民の経済的豊かさを全国5位以内に向上〔策定時 全国12位〕

KPI:2人以上世帯の世帯収入(福井市)[R3(2021):766万円⇒ R9(2027):約820万円、約7%増]

	R3策定時	R4	R5	R6	R7	R9目標	達成度
全国順位	12位	8位	6位	10位	11位	5位	△
2人以上世帯の世帯収入(福井市)	766万円	796万円	813万円	809万円	847万円	820万円	

3 企業収益力を全国5位以内に向上〔策定時 全国7位〕

KPI:1法人あたり所得金額(福井県)[R2(2020):866万円⇒ R9(2027):約950万円、約1割増]

	R2策定時	R3	R4	R5	R6	R9目標	達成度
全国順位	7位	18位	21位	12位	10位	5位	△
1法人あたり所得金額(福井県)	866万円	901万円	854万円	1,416万円	1,583万円	950万円	

- ✓ 仕事に関する県民の幸福実感は3つの指標全てで目標を達成
- ✓ 一方で、県民の経済的豊かさや企業収益力の数値目標は達成したものの、全国順位は目標に達せず



主観的な幸福度は向上したものの、客観的な指標(企業収益、世帯収入)の全国順位は横ばい

- ・ 大都市圏を除く地方の上位県は、黒字法人がより稼いでいることが要因のひとつ
- | | | | |
|------------|----------------|---|--------------------------------------|
| 1法人当たり所得金額 | 福井10位(1,583万円) | ⇔ | 山口4位、富山5位、愛媛7位、島根8位(2,287~1,783万円) |
| 黒字法人の所得金額 | 福井15位(4,895万円) | ⇔ | 山口5位、愛媛6位、富山7位、島根9位(7,293万円~5,819万円) |

物価高騰や継続的な賃上げなど厳しい経営環境にあっても、
成長を続け、人や企業を惹きつけるためには、
福井の強みや特徴を活かし、地域企業の稼ぐ力を高めることが必要

新たな経済プラン(仮称)策定に向けた検討の方向性

1 ふくいNEW経済ビジョンの進捗

2 福井県の現状・課題と今後必要となる取組み

3 新経済プラン(仮称)の考え方

最大の課題である人口減少をはじめ、様々な社会経済情勢の変化に直面する中、
成長を続け、人や企業を惹きつけるための取組みが求められる

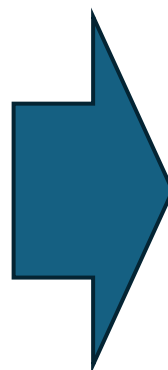
現状・課題

人口減少、働く世代の減少
(労働供給制約社会の到来)

インフレ・金利のある時代への移行

継続的な賃上げ、原資の確保

など



必要な取組み

成長分野・地域未来戦略

海外展開、インバウンド

AX(AIトランスフォーメーション)

産業立地(新たな産業団地)

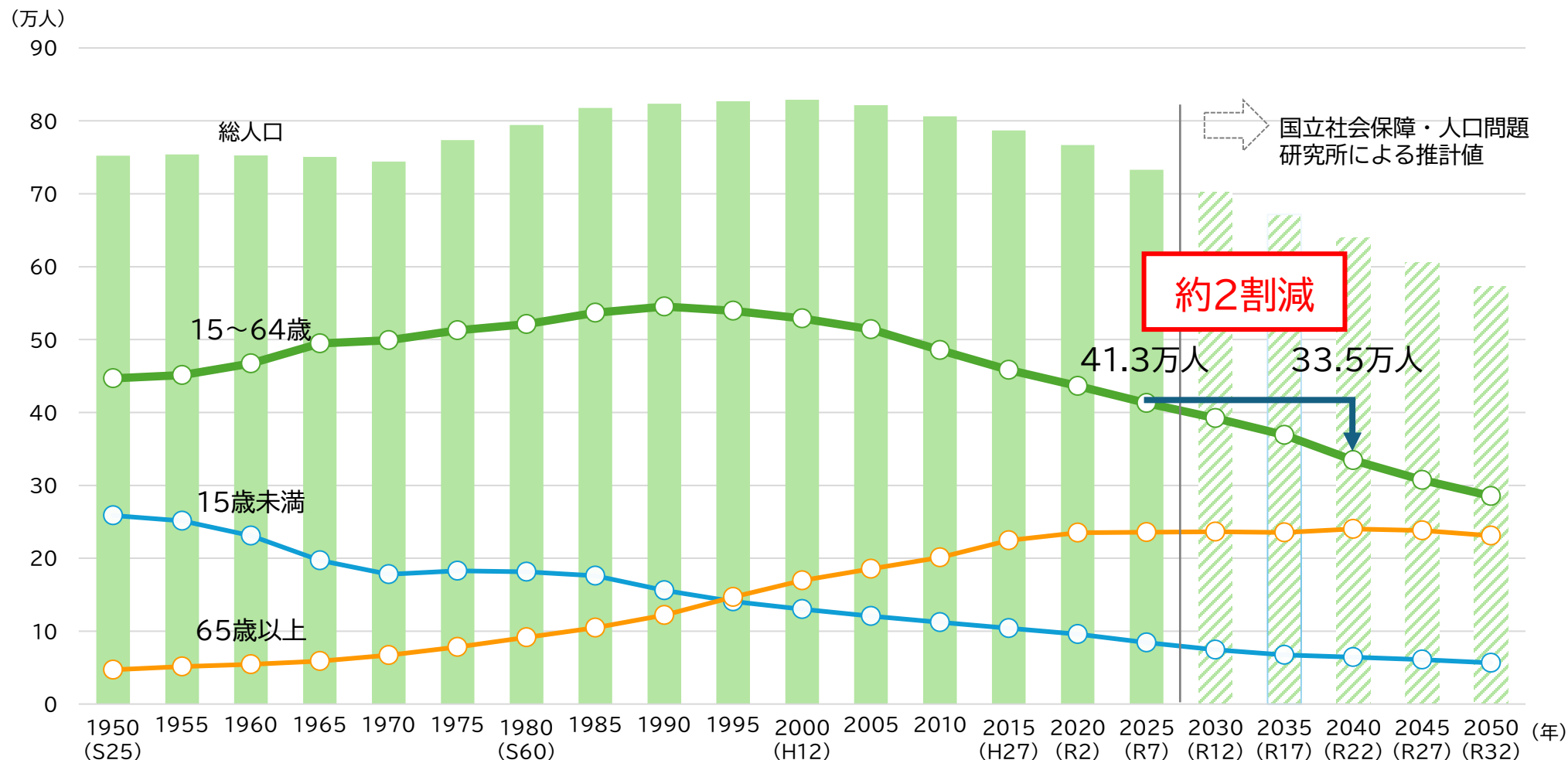
サーキュラエコノミー、脱炭素

北陸新幹線、まちづくり

など

福井県の現状・課題 ― 労働供給制約社会の到来 ①人口減少・少子高齢化

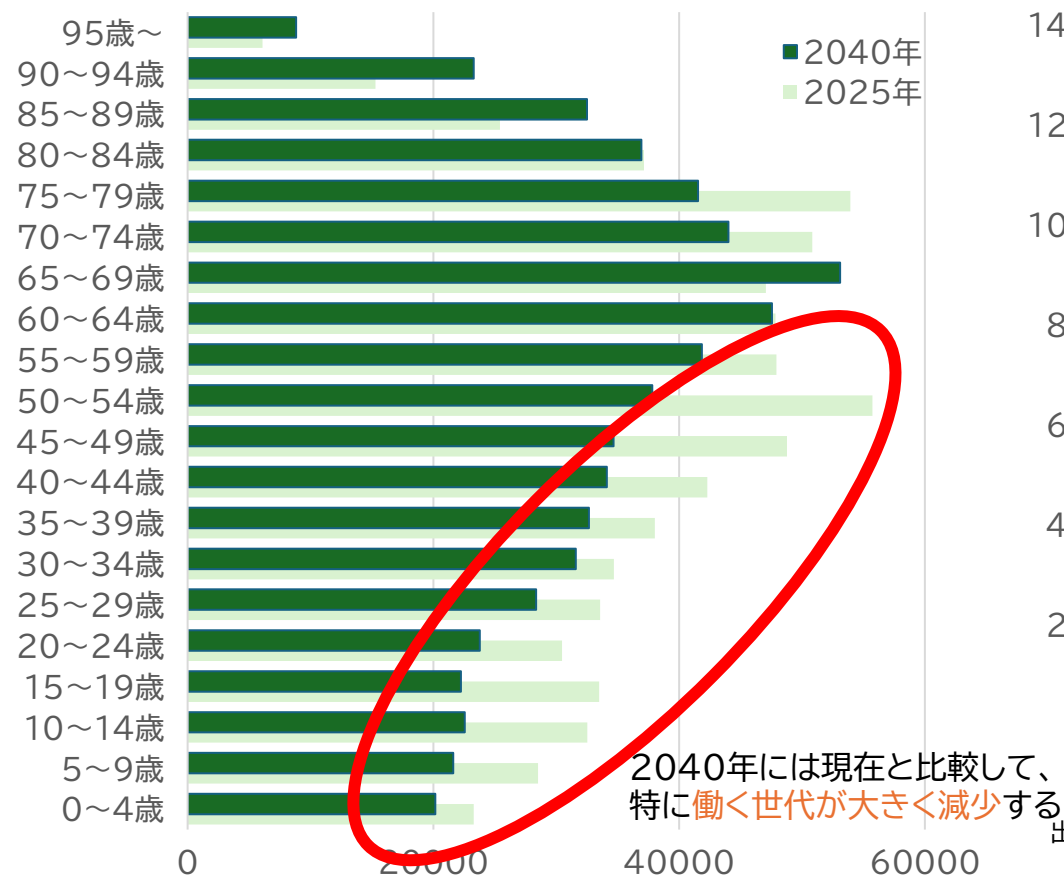
- 福井県の人口は、2000年の82.9万人を頂点に減少傾向にあり、2040年には63.9万人に。
- 15～64歳人口は、2025年の41.3万人から、2040年には33.5万人と2割近く減少する見込み



福井県の現状・課題 ― 労働供給制約社会の到来 ②労働人口の減少

- 人口の減少幅は若い世代ほど大きく、特に働く世代が大きく減少
- 現在と同水準の経済規模を維持するためには労働生産性を1.3倍、国の成長戦略実現ケース(最大1.4%向上)のペースで成長するためには今後15年間で労働生産性を約2.4倍(年率約4.7%)にすることが必要

○ 福井県の年齢別人口推計



出典 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」

○ 福井県労働生産性の向上



出典 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」、総務省統計局「令和3年経済センサス活動調査」から県推計
(物価上昇は日本銀行物価安定目標2%、成長ケースは内閣府「中長期の経済財政に関する試算」)

福井県の現状・課題 ― 労働供給制約社会の到来 ③需給ミスマッチ

- 国の推計によると、県内で2040年には約1.3万人の人材が不足
- 職種での需給のミスマッチにより、事務職に2.3万人の余剰が生じる一方、専門職・現場人材が3.2万人不足、学歴間でも、理系人材が1.9万人不足

		合計	専門職	事務職	現場人材	その他			
福井	2040年 需給ミスマッチ	-1.3	-1.3	2.3	-1.9	-0.4			
	2040年需要数	37.8	10.4	6.3	20.2	0.9			
全国	2040年 需給ミスマッチ	0.0	-181.0	437.0	-260.0	4.0			
	2040年需要数	6303.0	1867.0	1039.0	3283.0	114.0			

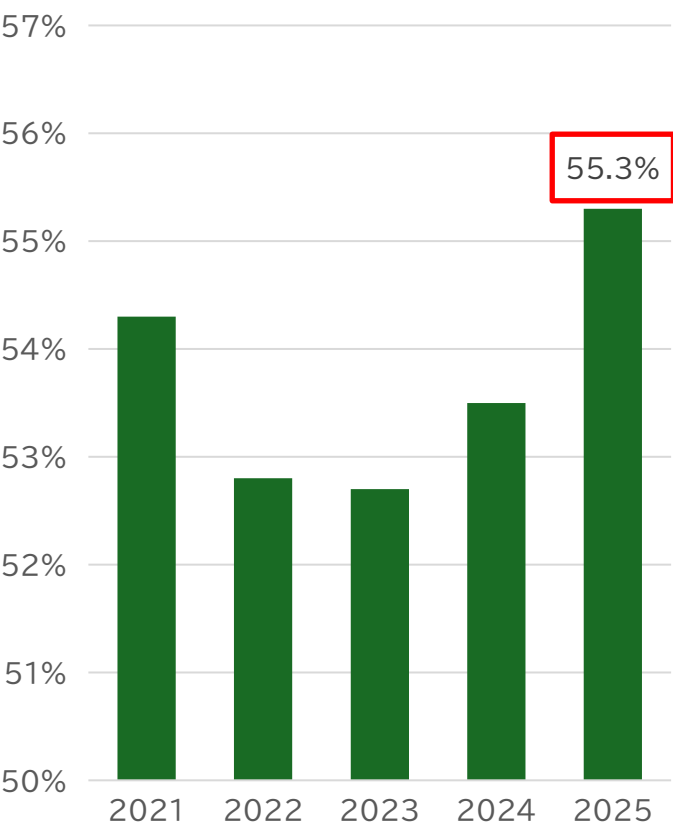
		合計	高卒 (普通科)	高卒 (工業科)	高専卒	大卒理系	院卒理系	大卒文系	院卒文系	その他
福井	2040年 需給ミスマッチ	-1.3	0.0	-0.7	-0.1	-0.8	-0.3	0.2	0.1	0.3
	2040年需要数	37.8	4.7	3.5	0.5	3.9	1.3	8.5	0.7	14.7
全国	2040年 需給ミスマッチ	0.0	32.0	-91.0	-15.0	-96.0	-27.0	61.0	15.0	121.0
	2040年需要数	6303.0	778.0	538.0	77.0	683.0	217.0	1439.0	110.0	2461.0

出典 経済産業省「2040年の就業構造推計(改訂版)」

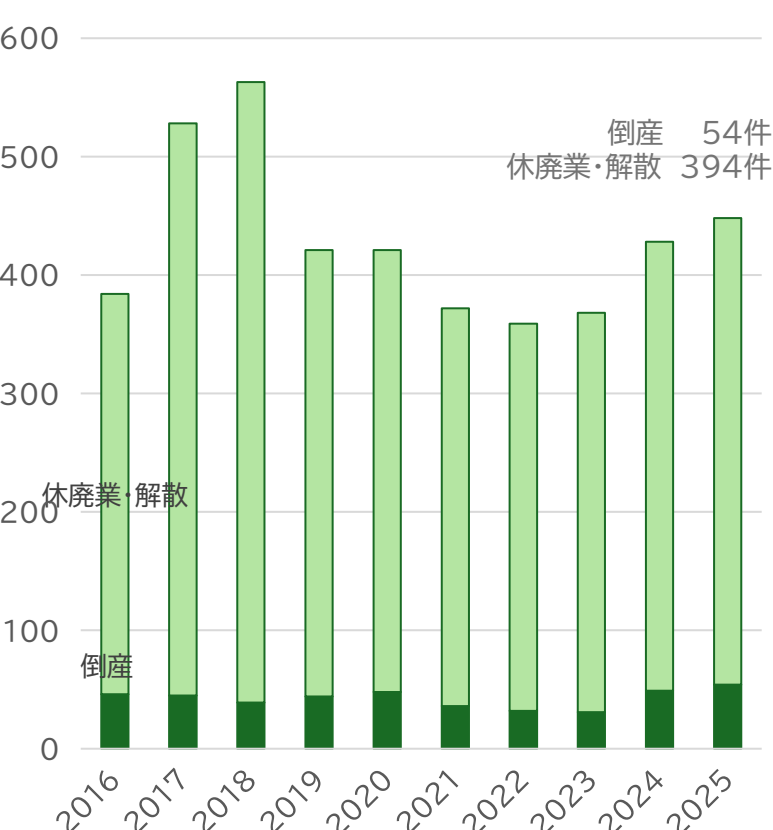
福井県の現状・課題 ― 労働供給制約社会の到来 ④経営者の高齢化と倒産・休廃業

- 福井県の社長平均年齢は60歳を超え、**後継者不在率は50%超で推移**
- 技術やノウハウを持つ企業や、サービス業、建設業、小売業など地域生活を支える事業者等の休廃業で**地域活力低下のおそれ**

○ 福井県の後継者不在率



○ 福井県の休廃業・解散、倒産件数

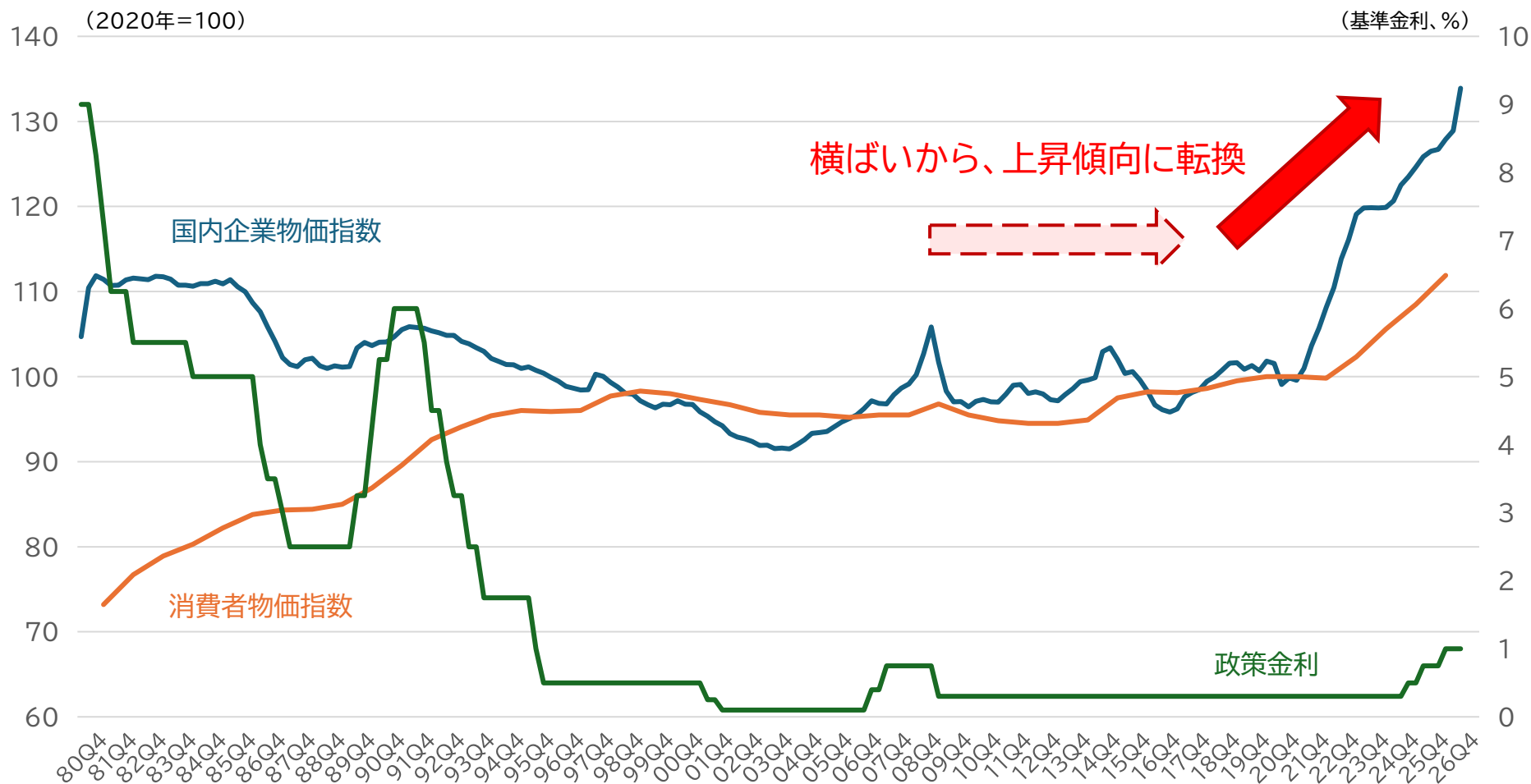


2025年休廃業・解散(394件)
の産業別内訳

農林漁鉱業	3
建設業	72
製造業	65
卸売業	30
小売業	63
金融・保険業	11
不動産業	12
運輸業	6
情報通信業	16
サービス業他	116

福井県の現状・課題 — インフレ・金利のある時代への移行

- 国内企業物価指数、消費者物価指数はともに、2020年頃から上昇傾向
- 金利も横ばいから上昇に転じており、デフレ・ゼロ金利環境から**インフレ・金利のある時代へ移行**

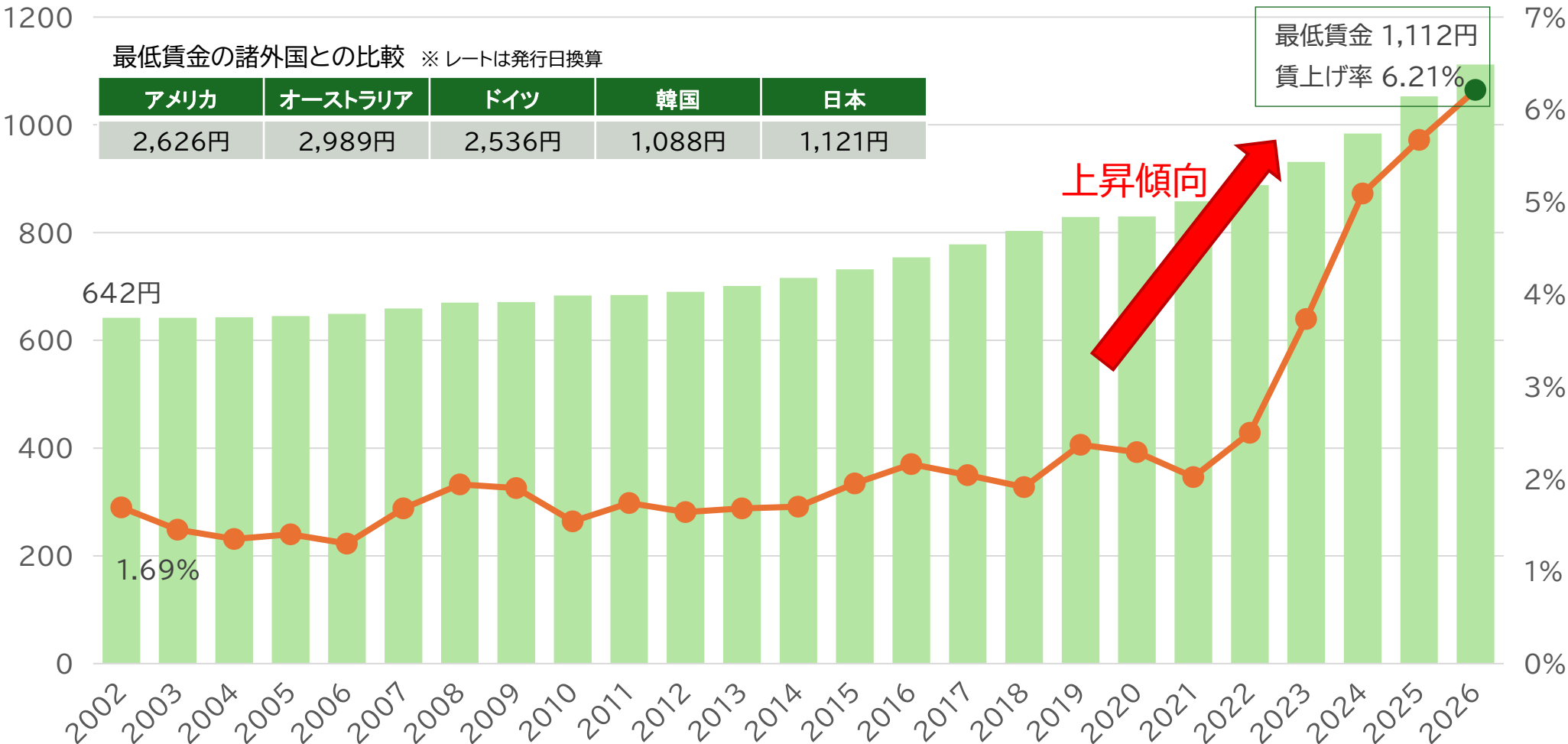


福井県の現状・課題 ― 継続的な賃上げ・原資の確保

- 福井県の最低賃金は2026年に1,100円を超え、春闘賃上げ率(加重平均、連合福井集計)も上昇傾向
- 国は、2030年代前半までに最低賃金の全国平均で1,500円とする目標を設定しており、最低賃金を含む賃上げを継続的に行うための原資の確保が必要

最低賃金の諸外国との比較 ※レートは発行日換算

アメリカ	オーストラリア	ドイツ	韓国	日本
2,626円	2,989円	2,536円	1,088円	1,121円



出典 厚生労働省「地域別最低賃金改定状況」／連合福井「福井県 春闘賃上げ率」

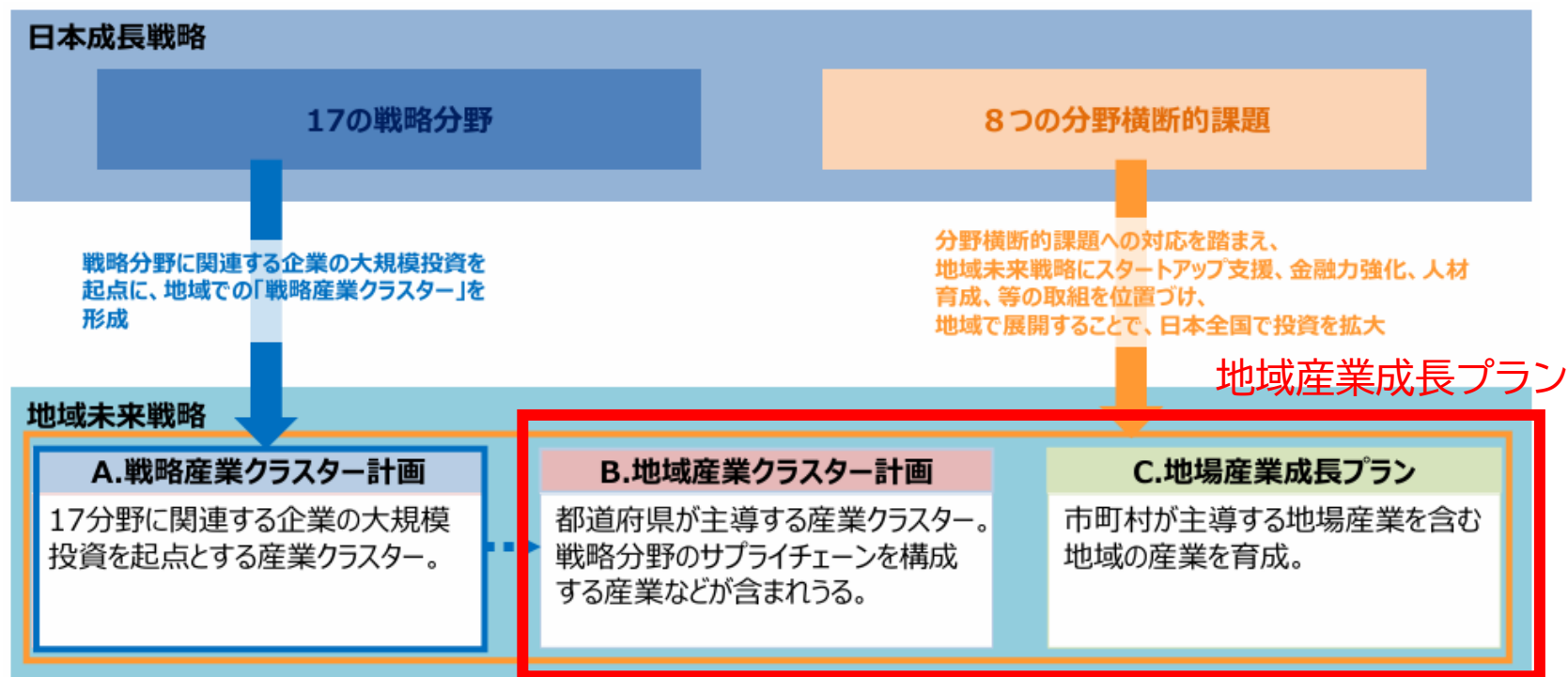
必要となる取組み — 強い経済を目指す国の動き

- 国は骨太の方針2026において、危機管理投資や成長投資を進めることを宣言し、17の戦略分野において、2040年度までに官民合計370兆円規模の投資を目指すことを決定
- 地域未来戦略の中で、産業クラスター形成・強化等に向け福井県においても地域産業成長プランを策定予定

○ 経済財政運営と改革の基本方針2026(骨太の方針)

- ◆ 投資不足の流れを断ち切るとともに、世界的な産業政策の大競争時代に対応していくため、「責任ある積極財政」の考え方の下、「危機管理投資」や「成長投資」を大胆かつ戦略的に進め、中長期的な成長力強化につなげていく。

○ 日本成長戦略と地域未来戦略



福井県の産業の特徴

地場産業

- ・高機能繊維やプラスチック等の先進マテリアル産業が集積し、近年は、自動車や航空宇宙産業等へ進出
- ・和紙や打刃物、若狭塗など、長い歴史と匠の技を受け継ぎながら進化を続ける伝統工芸産地が集積

観光産業

- ・恐竜や食、歴史・文化、自然等の魅力を活かし、新幹線開業を追い風に成長する観光地を有する

農林水産業

- ・豊かな森林や里海の恵みを生かし、いちほまれや越前がになど、多様な農林水産資源が集積

福井県の様々な地場産業や伝統工芸、観光、農林水産など、可能性を秘めた魅力ある地域資源を最大限活用し、官民の投資と連携を促すとともに、産業の集積化を進め、地域の稼ぐ力を向上



県が産業クラスター形成・強化等に向け策定する地域産業成長プラン（地域産業クラスター計画、地場産業成長プラン）において、対象となる可能性のある取組み分野、取組み例

①先進マテリアル産業

世界的な環境規制に対応するための高機能繊維やプラスチック等の先進マテリアル産業の資源循環モデルの構築 等

②宇宙関連産業

人工衛星関連製品の製造から運用までを県内で一貫して取組める体制の構築 等

③伝統工芸

産業観光の振興に向けた環境整備や、担い手の確保、販路開拓および新商品開発等への支援 等

④観光産業

官民連携した観光地域づくりや、観光・文化・スポーツ等のコンテンツの高付加価値化、国内外からの誘客推進 等

⑤農林水産業

農林水産物の磨き上げ、販路拡大に向けた環境整備 等

必要となる取組み — 新たな技術や価値への対応

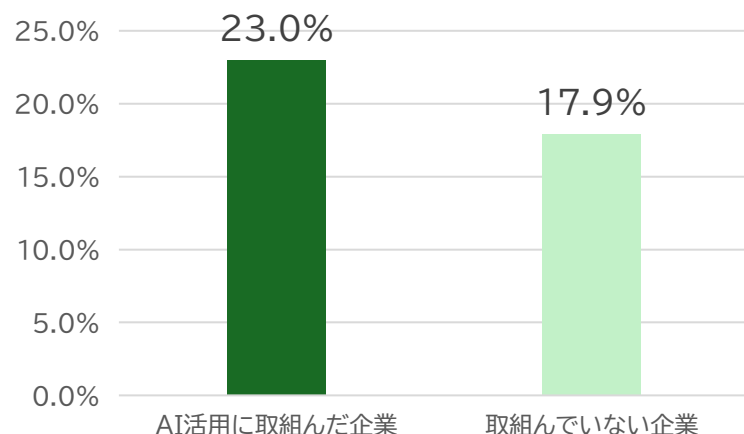
- 限られた人材で、より高い付加価値を生み出すためには、AX(AIによる経営改革)が必要。AI活用に取り組む企業は、そうでない企業より付加価値の増加率が高い
- 実際に、AIを利活用している企業は、ITよりも付加価値創出効果が高いことを実感

○ 中小企業庁「労働供給制約社会における中堅・中小企業の「稼ぐ力」強化戦略」

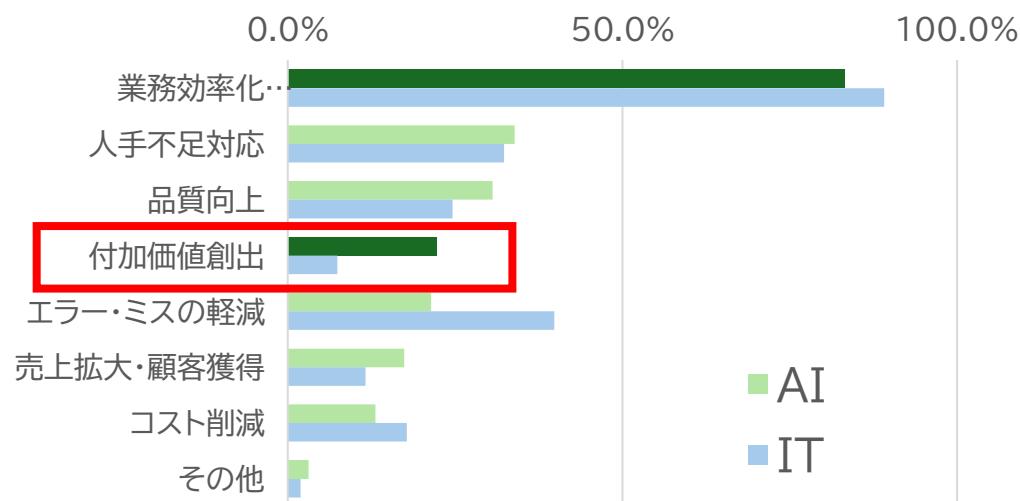
地方発AXの実現

- AX(AIトランスフォーメーション)やデジタル化は、単なる技術導入ではなく、限られた人材でより高い付加価値を生み出すため、投資判断・価格戦略・人材配置を高度化し、抜本的な経営改革の観点から活用される必要がある。現場現業型でスピード感がありAI活用による成長余地の大きい地域の中小企業のAXを行い、抜本的な経営改革を実現していく。

○ AI活用による付加価値額の増加率



○ AI・ITの導入効果



必要となる取組み — 新たな技術や価値への対応

- 原子力や水力などの脱炭素電源による安価で安定した電力が他県にない優位性
- 大企業等におけるサステナビリティ開示の動きや欧州等における環境配慮の動きが進むことで、サプライチェーンに組み込まれている中小企業においても、脱炭素やサーキュラエコノミーへの取り組みが求められるようになる可能性

○ GX・脱炭素・サーキュラエコノミー

- 国は産業資源であるコンビナート等や地域に偏在する脱炭素電源等を核とした「新たな産業クラスター」の創出を目指すGX戦略地域制度を創設。福井県は、原子力や水力など脱炭素電源を背景に有望地域に選定。熟度が高まった地域は夏頃を目途に認定が行われる予定

地域選定

①コンビナート等再生型

コンビナート跡地等を有効活用し、産業クラスターを形成



地域選定

②データセンター集積型

電力・通信インフラ整備の効率性を踏まえたDC集積及びそれを核とした産業クラスターを形成



地域選定

③脱炭素電源活用型 (GX産業団地)

脱炭素電源を活用した団地を整備し、当該電源を核とした産業クラスターを形成



事業者選定

④脱炭素電源地域貢献型

(脱炭素電源を活用し、当該電源の立地地域に貢献する事業者の設備投資を後押し)

- 国内ではプライム市場上場企業で順次サプライチェーン全体での炭素排出量の開示が義務化され、欧州では繊維等の分野で資源循環の取り組みが進んでいる

Scope3(自社事業の活動に関連する他社の排出)の開示義務化の時期

2027年3月期	平均時価総額3兆円以上
2028年3月期	1兆円以上3兆円未満
2029年3月期	5,000億円以上1兆円未満
未定	5,000億円未満

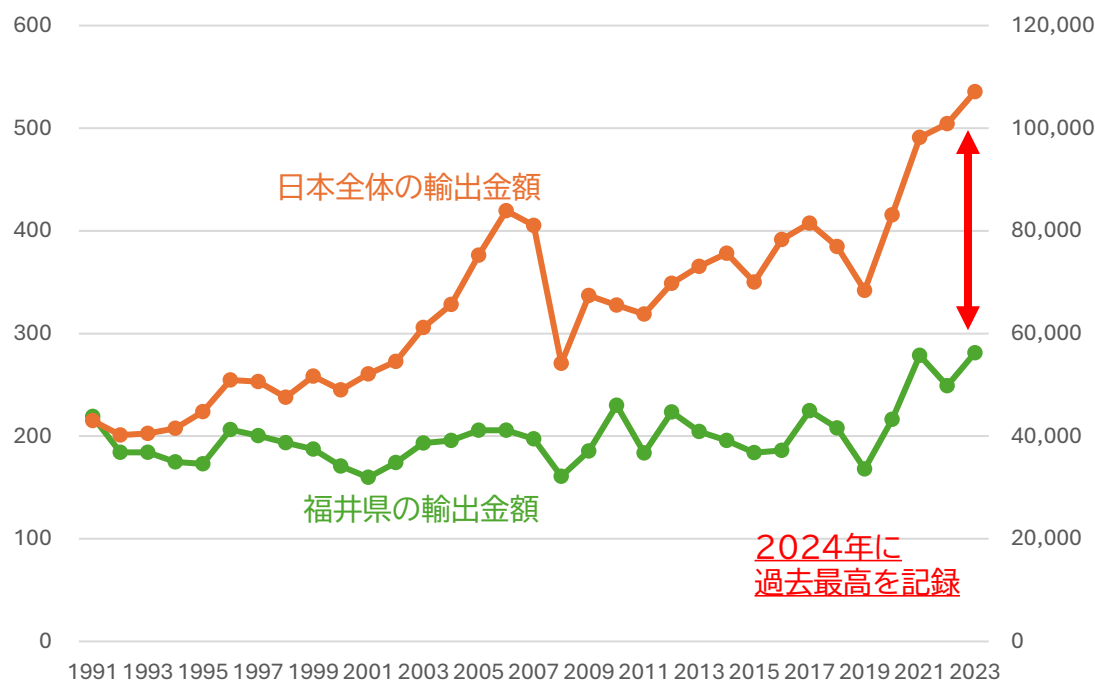
繊維業界における環境配慮に関する国内外の動向

- 繊維・アパレル産業における環境配慮情報開示ガイドライン (経済産業省 2024. 6月)
- 環境配慮設計ガイドライン (経済産業省 2024. 3月)
- 持続可能な製品のためのエコデザイン規則 (欧州委員会 2024. 6月)
- 持続可能な循環型繊維製品戦略 (欧州委員会 2022. 3月)

必要となる取組み — 新たな技術や価値への対応

- 福井県の輸出金額はここ数年は上昇傾向にあり、**2024年に過去最高を記録したが**、金額の伸びは日本全体と比べると穏やかであり、福井県が占める割合は人口比でみると少ない
- 県内企業が今後重視する輸出先は、東南アジア、欧州、北米、中華圏

○ 福井県の輸出金額の推移

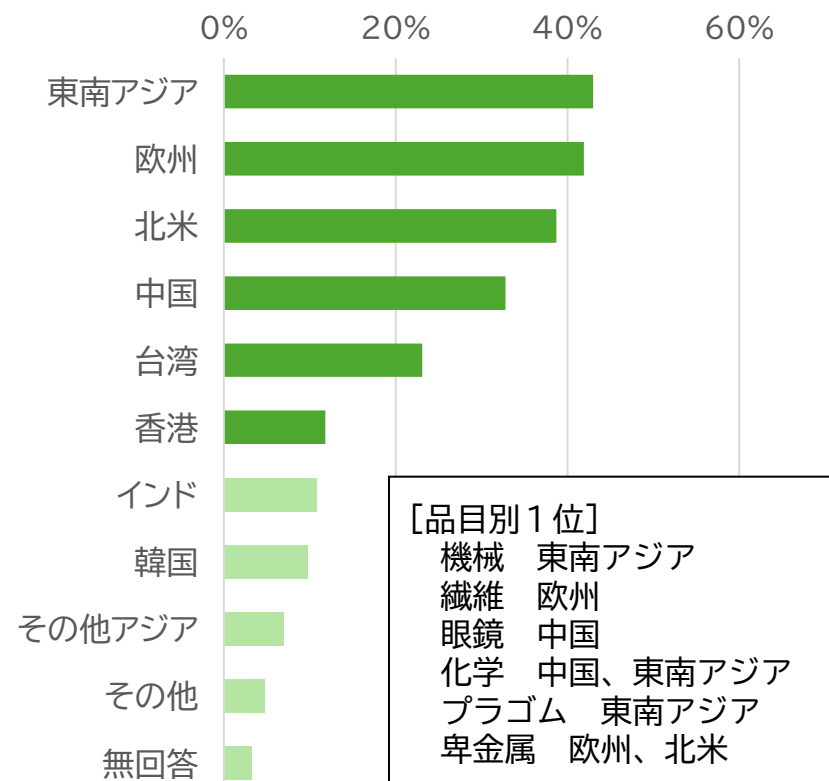


日本の輸出額に占める福井県の
輸出額の割合 **0.26%**



日本の人口に占める福井県の
人口の割合 **0.60%**

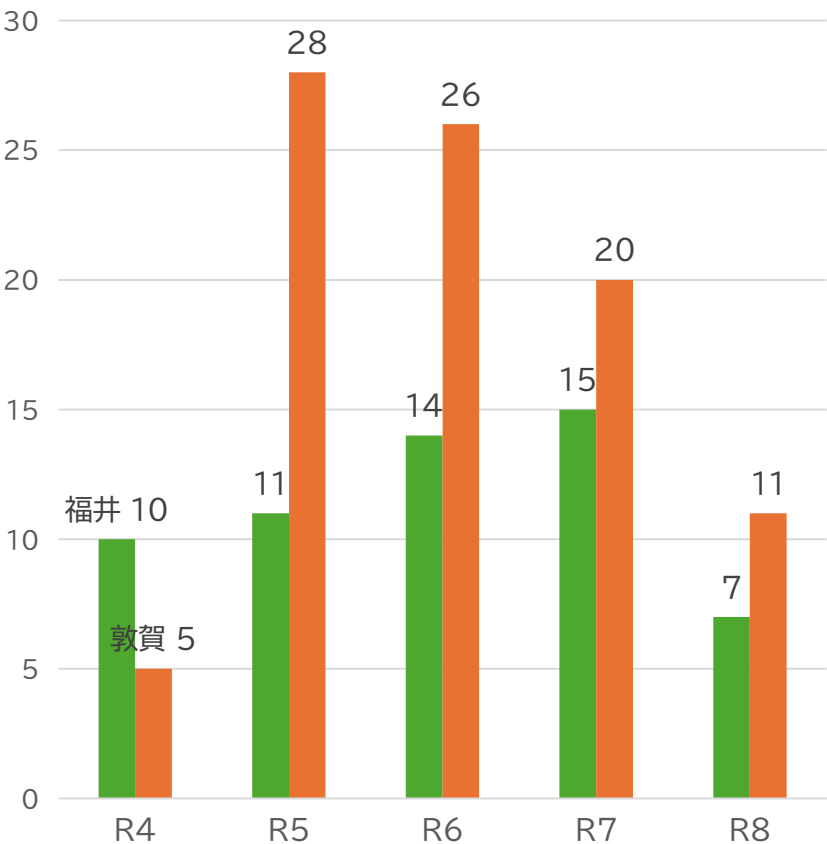
○ 県内企業のターゲット



必要となる取組み — 新たな技術や価値への対応

- 令和6年3月の北陸新幹線福井・敦賀開業の前後で、飲食や物販など駅周辺の民間投資が活発化し、**新幹線駅周辺のにぎわいを創出**
- 北陸新幹線福井・敦賀開業の効果拡大や中部縦貫自動車道全線開通を見据え、令和9年度以降に**福井と小浜で新たな県営産業団地**の分譲開始予定

○ まちづくりファンドの支援件数



令和8年度は7月末時点の件数、1件の支援で2店舗以上を支援する場合があるため合計は一致しない

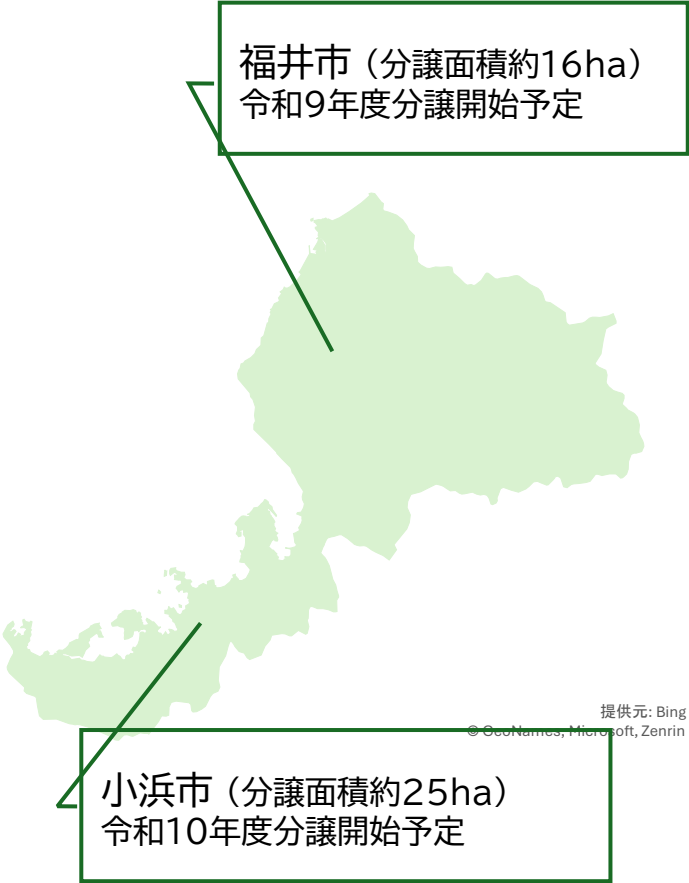
福井駅周辺

飲食	33
物販	10
サービス	8
その他	8

敦賀駅周辺

飲食	48
物販	15
宿泊	4
サービス	3
上記の複合形態	14
その他	6

○ 新たな県営産業団地の造成



新たな経済プラン(仮称)策定に向けた検討の方向性

- 1 ふくいNEW経済ビジョンの進捗
 - 2 福井県の現状・課題と今後必要となる取組み
 - 3 新経済プラン(仮称)の考え方
-

新経済プラン(仮称)の考え方 ― 県内経済界との意見交換を実施

県内経済界の意見を取り入れるため、意見交換を実施

福井経済ラウンドテーブル [令和8年8月7日福井県庁]



(参加者)

福井県商工会議所連合会、
福井県商工会連合会
福井県中小企業団体中央会
福井経済同友会
福井県経営者協会

若者会議～福井のびしろトーク～ [令和8年7月29日越乃バレー(福井市)]



(参加者)

若手経営者
伝統工芸職人
県内企業の従業員など 計16名

新経済プラン(仮称)の考え方 ― 経済団体の意見

福井経済ラウンドテーブル(令和8年8月7日)

(福井県商工会議所連合会)

- ✓ 人口減少という構造的圧力が、労働力不足だけでなく、地域市場の縮小や地域インフラ維持にも影響をあたえている。
- ✓ 高付加価値な産業構造への転換、広域経済圏で共創、電力の強みの最大限活用

(福井県商工会連合会)

- ✓ 企業を伸ばす政策だけでなく、地域の小規模事業者の存在を「暮らしを支える機能」として位置づけ、生活機能や産業基盤を支える小規模事業者を残す政策、支援機関の基盤を維持・強化する政策を

(福井県中小企業団体中央会)

- ✓ 中小企業の課題は、価値に見合った適正な対価の獲得・情報発信力、人材確保・定着、防災・事業継続体制

(福井経済同友会)

- ✓ 人口減少の要因には様々あるが、若者流出の最大の要因は福井に魅力的な仕事がないという思いこみ。情報の伝え方を考え直すことを含め、県内企業の魅力を積極的に発信すべき

(福井県経営者協会)

- ✓ 成長を阻害する課題は、投資の停滞と人材のミスマッチ
- ✓ 企業が自ら変わるために、新産業創出や新商品・技術開発投資を後押し、AI・DX・ロボット人材育成、選ばれる企業へと変化促進の3つの支援を

福井経済ラウンドテーブル(令和8年8月7日)

(意見交換)

- ✓ 福井の強みは長い年月をかけ培ってきた基礎技術。その福井をどこに向けるのかという出口戦略を考える必要がある。それを議論し、技術を核として企業が集まり、新しい市場へ挑戦するような仕組みや協議体が必要
- ✓ 技術を磨き上げ「真似できない技術」まで突き詰める。製品とは異なり外から見えない技術を価値として発信すること、異なる産業同士の技術を掛け合わせ新たな価値を生み出すことが重要
- ✓ サークュラエコノミーや脱炭素が世界的な潮流になっており、福井の産業もこうした価値観の変化を前提に考える必要がある
- ✓ 小規模事業者も北陸新幹線開業による変化を感じており、若狭地域でも観光や交流人口の拡大に向けた取組みが進み、旅館や観光事業者も様々な工夫を行うなど、明るい材料が増えてきたという実感がある
- ✓ 小学生や中学生の頃から地域企業に触れる機会を増やし、企業見学や職業体験などを通じて、「福井にはこんな企業がある」「こんな面白い仕事がある」ということを知ってもらうことが必要
- ✓ 経済政策の成果としては、県民一人当たりGDPの向上と、福井が持つ高い生活満足度や幸福度の両立を目指すべき。「稼ぐ力」と「幸福度」を両立させ、見える化していくことが、今後選ばれる地域になるための条件

新経済プラン(仮称)の考え方 ― 若者の意見

若者会議(令和8年7月29日)

若者
会議

「福井のびるトーク」

第1回 産業分野

2026.7.29 wed

10:30 - 12:00

◎越乃バレー

グラフィック
by なるかわ
ともか

若手経営者

チームA
ソースカツ

キーワード
バイアス

福井…人間関係(縁)
距離の ↔ 固定
近さ 観念

↓

県民の声を聞く機会を!

👤👤 挙手制だと
あげにくい…

感情の
省エネ
システムを
外す

私には
いいかなー
話してみたい!

出荷システム

→ 新グループ
解散 ← 成長

参加の
ハードルを
下げる!

伝統工芸 職人

チームB
スイセン

伝統工芸の
魅力を
広めるには

体験と発信が大事!

でも…
移動手段(少)

憧れる職人も
発信したい! 楽しい!

産地では 私たちの
50~60代が 声も聞いて!

馬 ←→ 産地の
アクセス向上を!

若手従業員

チームC
サウルス

多くの
中小企業は **人手不足** 中

新卒採用 中高生向け

職業体験

Uターン採用
支援制度の
周知も!

定着支援

有休を
とりやすく
手当
サポート

導入支援
(デジタル
産業ロボット
AI)

リモートワーク
推進
働きやすい
社会づくり!

福井で
優しくて
楽しそう!

若手従業員

チームD
カニ

人のあたたかさ
自然は魅力だけど…

文化
施設

全天候型
若者の
遊び場
がほしい!!

交通網が不便
地下鉄 歩行者に
ない やさしくない

**製造業の
人手不足**

テーマパーク的
職場体験

地域
企業の
イベント

子どもの頃
かまぼこ
工場

働きたい!

ライドシェアが
ほしい!

県民の生の声を
政策に活かしていきます!

福井県知事
石田嵩人

新経済プラン(仮称)の考え方 ― 若者の意見

若者会議(令和8年7月29日)

(若手経営者)

- ✓ 若手従業員や学生のポテンシャルを引き出したいが、経営者の立場から促すことが難しい
セミナーや交流会などを勧めたいが、強制感が出ないよう働き方改革との兼ね合い
- ✓ 恥ずかしい、ハードルが高いなどのイメージがあり、モチベーションの高い従業員、起業したい学生など、本当は意欲がある若者が言い出せない風潮がある

(伝統工芸職人)

- ✓ 業界では、50代で若手と言われている。組合などは、70代や80代など高齢の方がずっと上役にいる。若者がアイデアを言っても高齢の方が分かってくれない
- ✓ 高齢の方はシブさとかっこよさ、若者は可愛さなど、たくさんのジャンルの職人を発信憧れる職人を増やしたい。していきたい

(若手従業員)

- ✓ 製造業において専門的な工程は技術系人材に属人化しており代替が難しい
- ✓ 若手、日本人、技術系(理系)の人材が不足している。特に理系の若者は福井に残っておらず、人材の確保が難しい
- ✓ 副業への理解が進んでいない。規則上は禁止されていないものの、暗黙の了解により行いづらい雰囲気がある
- ✓ 製造業の魅力が伝わっていない。若者に福井の企業が知られていない

福井経済の方向性に向けて成長を実現するために、 どのような政策・取組みを行うべきか、各々の専門的な見地からご議論いただきたい

- ✓ 労働供給制約社会においても、「稼ぐ力」を高め成長を続ける戦略
 - ✓ 福井の強みである技術を活かした戦略、技術の出口戦略
 - ✓ 地域未来戦略において、クラスターの形成・強化を目指す産業分野
 - ✓ 重点的に強化すべき新技術・価値(AI、宇宙、GX・脱炭素・サーキュラエコノミー 等)
 - ✓ 県外との経済交流や海外展開など広域での共創に向けた戦略
 - ✓ 新幹線開業後のまちづくり・にぎわいづくり
 - ✓ 地域を支える中小・小規模事業者への支援
 - ✓ 人材育成・リスキリング、理系人材の確保
 - ✓ 県内外の人に福井の企業や仕事の魅力を伝える施策
 - ✓ 県内産業を若者や女性が成長できる活躍の舞台とする戦略
- など